

食品安全委員会の運営について（平成28年4月～6月）

1. 食品安全委員会の開催

4月：第601回～第604回

(1) 食品健康影響評価の要請案件

遺伝子組換え食品等（1品目）	・チョウ目害虫抵抗性ダイズMON87751系統
----------------	-------------------------

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件

農薬（1品目）	・フルオピコリド フルオピコリドのADIを0.079 mg/kg 体重/日、ARfDを1 mg/kg 体重、フルオピコリドの代謝物である2,6-ジクロロベンズアミドのADIを0.047 mg/kg 体重/日、ARfDを0.52 mg/kg 体重と設定。
農薬及び動物用医薬品（1品目）	・フィプロニル ADIを0.00019 mg/kg 体重/日、ARfDを0.02 mg/kg 体重と設定。
器具・容器包装（1品目）	・フタル酸ジイソデシル TDIを0.15 mg/kg 体重/日と設定。
汚染物質等（1品目）	・加熱時に生じるアクリルアミド 日本人における食事由来のアクリルアミド摂取による非発がん影響について、一定のばく露マージンが確保されていることから極めてリスクは低いと判断した。また、発がん影響のリスクについては、疫学研究において、職業性ばく露等の高ばく露集団も含め、アクリルアミドばく露量とがんの発生率との関連に一貫した傾向はみられていないことから、ヒトにおける健康影響は明確ではないが、動物実験から求めたBMDL10と日本人の食品からのアクリルアミドの推定摂取量から算出したばく露マージンが十分ではないことから、公衆衛生上の観点から懸念がないとは言えないと判断した。このため、ALARAの原則に則り、引き続き合理的に達成可能な範囲で、できる限りアクリルアミドの低減に努める必要がある。

(3) その他

- ・食品安全関係情報（3月5日～3月17日収集分、3月18日～4月1日収集分）について報告
- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成28年3月分）について報告
- ・「カンピロバクター」のファクトシートの作成について報告

5月：第605回～第608回

(1) 食品健康影響評価の要請案件

添加物（1品目）	・ステアリン酸マグネシウム
農薬（8品目1案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・E P N ・キンクロラック ・シクラニリプロール ・スピネトラム ・ブプロフェジン ・フルオピラム ・フルトラニル ・ボスカリド ・食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づき定められた、食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）のカプタホール試験法の改正
農薬、動物用医薬品及び飼料添加物（1品目）	・オキシテトラサイクリン
動物用医薬品（1品目1案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・前葉性卵胞刺激ホルモン（FSH）を有効成分とする牛の過剰排卵誘起用注射剤（アントリンR10・AI） ・食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づき定められた、食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）のクロラムフェニコール試験法並びにイプロニダゾール、ジメトリダゾール、メトロニダゾール及びロニダゾール試験法の改正
かび毒・自然毒等（1案件）	・佐賀県及び佐賀県内事業者が提案する養殖から提供まで管理された方法により取り扱われる養殖トラフグの肝臓
遺伝子組換え食品等（1品目）	・低飽和脂肪酸・高オレイン酸及び除草剤グリホサート耐性ダイズMON87705系統、除草剤ジカンバ耐性ダイズMON87708系統並びに除草剤グリホサート耐性ダイズMON89788系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種
特定保健用食品（1品目）	・ガセリ菌SP株ヨーグルト

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件

農薬（6品目1案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・テブフェノジド <u>ADIを0.016 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u> ・トリフルミゾール <u>ADIを0.015 mg/kg 体重/日、ARfDを0.25 mg/kg 体重と設定。</u> ・ニテンピラム
------------	--

	<p><u>ADIを0.53 mg/kg 体重/日、ARfDを0.6 mg/kg 体重と設定。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピカルブトラゾクス <u>ADIを0.023 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u> ・プロヒドロジャスモン <u>ADIを0.14 mg/kg体重/日、ARfDを1.2 mg/kg 体重と設定。</u> ・ブロマシル <u>ADIを0.019 mg/kg 体重/日、ARfDを0.2 mg/kg 体重と設定。</u> ・食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づき定められた、食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）のカプタホール試験法の改正 <u>新たに開発された試験法の追加及び試験法の名称変更であり、規格そのものを変えるわけではないことから、食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当することを確認。</u>
農薬及び添加物（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・フルジオキソニル <u>ADIを0.33 mg/kg 体重/日、ARfDを2.5 mg/kg 体重と設定。</u>
農薬及び動物用医薬品（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・エトキサゾール <u>ADIを0.04 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u>
動物用医薬品（1品目1案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・トルフェナム酸 <u>ADIを0.01 mg/kg 体重/日と設定。</u> ・食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づき定められた、食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）のクロラムフェニコール試験法並びにイプロニダゾール、ジメトリダゾール、メトロニダゾール及びロニダゾール試験法の改正 <u>新たに開発された試験法の追加や試験法の変更であり、規格そのものを変えるわけではないことから、食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当することを確認。</u>
遺伝子組換え食品等（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・HIS-No.2株を利用して生産されたL-ヒスチジン <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方」に基づき、安全性が確認されたと判断。</u>

	<ul style="list-style-type: none"> PLA-54株を利用して生産されたホスホリパーゼA2 <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断。</u>
薬剤耐性菌（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> 家畜等に使用するバージニアマイシン <u>評価対象飼料添加物が鶏及び豚に使用された結果としてハザードが選択され、鶏及び豚由来食品を介してヒトがハザードに暴露され、ヒト用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できず、リスクの程度は中等度であると考えた。</u>

(3) その他

- ・食品安全関係情報（4月2日～4月15日収集分、4月16日～5月6日収集分）について報告
- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成28年4月分）について報告
- ・香料に関する食品健康影響評価指針を決定

6月：第609回～第612回

(1) 食品健康影響評価の要請案件

<p>添加物（1案件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 食品添加物公定書の改正に伴う「食品、添加物等の規格基準」の改正等に関する事項について
<p>動物用医薬品（1品目）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ペグボビグラスチム
<p>遺伝子組換え食品等（1案件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高度に精製され、安全性の確保に支障がないことが確認された食品添加物を飼料添加物として使用する場合に安全性の確保に支障がないことの確認について

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件等

<p>添加物（1案件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 食品添加物公定書の改正に伴う「食品、添加物等の規格基準」の改正等に関する事項について <u>リスク評価の要請があった品目については、食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当することを確認。</u> <u>照会案件については、試験の操作性の改善若しくは精度の向上を目的とした試験法の変更、名称の変更又は用語若しくは用例の統一等による成分規格の改正であり、規格値の変更を伴うものではないことから、食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当することを確認。</u>
<p>遺伝子組換え食品等（4品目）</p>	<ul style="list-style-type: none"> NZYM-JA株を利用して生産されたβ-アミラーゼ <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断。</u> ECP株を利用して生産されたL-プロリン <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方」に基づき、安全性が確認されたと判断。</u> コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシMON87411系統（食品） <u>「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断。</u> コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシMON87411系統（飼料） <u>「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」に基づき評価した結果、改めて『遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準』に準じて安全性評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物について安全</u>

	<u>上の問題はないと判断。</u>
飼料添加物（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・バチルス サブチルスJA-ZK株 <u>飼料添加物として適切に使用される限りにおいて、食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できると判断。</u>

(3) その他

- ・食品安全関係情報（5月7日～5月20日収集分、5月21日～6月3日収集分）について報告
- ・「シニアフェロー及びフェローの委嘱について」を決定
- ・BSE対策に関する調査結果等について報告
- ・平成27年度食品安全委員会運営状況報告書を決定
- ・薬剤耐性（AMR）対策アクションプランの決定について報告
- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成28年5月分）について報告

2. 専門調査会の運営

調査会名	開催回数	調査審議案件	
企画等	1回	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度食品安全委員会運営状況報告書 平成28年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補の選定の進め方 平成28年度食品安全委員会緊急時対応訓練 	
添加物	1回	<ul style="list-style-type: none"> ステアリン酸マグネシウム 	
農薬	専門調査会	1回	<ul style="list-style-type: none"> 専門委員等紹介 専門委員の職務について 座長の選出・座長代理の指名 農薬専門調査会の運営体制について 各評価部会に所属する専門委員及び専門参考人の指名、各部会の座長及び座長代理の指名、幹事会に所属する専門委員及び専門参考人の指名
	幹事会	3回	<ul style="list-style-type: none"> バクロブトラゾール メタミホップ イミダクロプリド グリホサート
	評価第一部会	2回	<ul style="list-style-type: none"> トリホリン オキシテトラサイクリン フルトラニル
	評価第二部会	2回	<ul style="list-style-type: none"> フェンキノトリオン ピラクロストロビン ファモキサドン
	評価第三部会	2回	<ul style="list-style-type: none"> メタミホップ フェンピラザミン ボスカリド
動物用医薬品	3回	<ul style="list-style-type: none"> トリプトレリン酢酸塩 酢酸メレンゲステロール 前葉性卵胞刺激ホルモン（FSH）を有効成分とする牛の過剰排卵誘起用注射剤（アントリンR10・A1） 	
器具・容器包装	1回	<ul style="list-style-type: none"> フタル酸ジオクチル（DNOP） 	
微生物・ウイルス	1回	<ul style="list-style-type: none"> 専門委員の紹介、専門調査会の運営等について 座長の選出 EFSA - 英国食品基準庁（FSA）主催、食品媒介ウイルスに関するワークショップの報告 デンマーク及びオランダにおけるカンピロバクター対策 	
プリオン	2回	<ul style="list-style-type: none"> 専門委員の紹介、専門調査会の運営等について 牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し 	
かび毒・自然毒等	1回	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀県及び佐賀県内事業者が提案する養殖から提供まで管理された方法により取り扱われる養殖トラフグの肝臓 	
遺伝子組換え食品等	3回	<ul style="list-style-type: none"> チョウ目害虫抵抗性ダイズMON87751系統（食品・飼料） MDT06-228株を利用して生産されたエキソマルトテト 	

		<p>ラオヒドロラーゼ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高度に精製され、安全性の確保に支障がないことが確認された食品添加物を飼料添加物として使用する場合に安全性の確保に支障がないことの確認 ・ 低飽和脂肪酸・高オレイン酸及び除草剤グリホサート耐性ダイズMON87705系統、除草剤ジカンバ耐性ダイズMON87708系統並びに除草剤グリホサート耐性ダイズMON89788系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種
新開発食品	1回	・ ガセリ菌SP株ヨーグルト
肥料・飼料等	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ サリノマイシン ・ トコフェロール
栄養成分関連添加物WG	2回	・ 炭酸カルシウム
評価技術企画WG	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門委員等紹介、ワーキンググループの運営について ・ 座長の選出・座長代理の指名 ・ 新たな評価方法の食品健康影響評価への活用に向けた課題及び今後の進め方（(Q)SAR、ベンチマークドーズ法、その他（遺伝毒性発がん物質の評価、食中毒菌の定量評価ほか））

3. 意見交換会の開催等

(1) 意見交換会（全1回）

開催日	開催地	意見交換会名	共催団体
5/11	東京都	食品安全委員会 国際専門家招へいプログラム「国際セミナー ～牛海綿状脳症（BSE）と食の安全に関する科学～（Science of BSE and Food Safety）」	

(2) 講師派遣（全6回、うち委員1回）

開催日	開催地	講演会名	依頼元
5/19	秋田県	消費者安全・安心セミナー	秋田県
5/26	神奈川県	第28年度特定給食施設等従事者講習会	藤沢市保健所
6/1	東京都	第60回消費者ゼミナール	主婦連合会
6/3	埼玉県	平成28年度埼玉県学校給食衛生管理講習会 *熊谷委員 吉田委員	埼玉県
6/14	福島県	平成28年度中央畜産技術研修会(畜産物安全行政)	農林水産省
6/23	埼玉県	平成28年度専門課程養成訓練	国立保健医療科学院

(3) 「食品を科学するーリスクアナリシス（分析）講座ー」地方開催（全8回）及び 食品安全モニター会議（全9回）

(注) 上記講座及び会議を合同で開催した（東京会場を除く）。

< 議事内容 >

①食品を科学するーリスクアナリシス（分析）講座ー

対象：一般参加者＋食品安全モニター（東京会場は食品安全モニターのみ）

内容：事務局講演「『健康食品』について 安全な選択をするために（19のメッセージ）」

委員講演（内容下記）

②食品安全モニター会議

対象：食品安全モニター

内容：説明「食品安全委員会と食品安全モニターについて」
グループワークと意見交換

開催日	開催地	委員講演の内容
5/26	東京	リスクコミュニケーション（堀口委員）
6/2	札幌	あなどるなかれ食中毒（熊谷委員）
6/3	仙台	塩と健康～あなたの塩分摂取は大丈夫？～（佐藤委員長）
6/16	広島	冷蔵庫に入れば大丈夫？～食品の保存を理解する～（石井委員）
6/17	福岡	私達のからだの代謝（体内分解）機能～添加物を例に～（山添委員）
6/23	大阪	農薬の評価について いっぱい食べてしまった!!農薬摂りすぎ？ （吉田委員）
6/24	京都	塩と健康～あなたの塩分摂取は大丈夫？～（佐藤委員長）
6/29	横浜	誰もが食べてる化学物質～食品の加工貯蔵中の化学変化の安全性～ （村田委員）
6/30	名古屋	誰もが食べてる化学物質～食品の加工貯蔵中の化学変化の安全性～ （村田委員）

4. 情報提供

(1) Facebook

委員会の活動や食品を通じて健康に被害を及ぼすおそれのある情報、国民の関心が高い食品安全に関する情報についての補足説明等について、機動的な情報提供

■ 4月（9記事・閲覧数約42,600件/月）

投稿日	記事内容
1	薬剤耐性(AMR)アクションプラン
5	アクリルアミドの評価結果がまとまりました
6	寄生虫(トキソプラズマ)による食中毒に注意しましょう
8	メルマガ【読物版】新鮮なものは本当に安全？
18	熊本地方を震源とする地震について（細菌性食中毒の予防のポイント等）
19	BSE国際セミナーの開催案内
	貝や野草を食べたことによる食中毒が発生
20	カンピロバクターのファクトシートを公表
28	メルマガ【読物版】あなどるなかれ食中毒

■ 5月（6記事・閲覧数約21,800件/月）

投稿日	記事内容
12	プリオン2016東京ブース出展
13	国際セミナー「牛海綿状脳症（BSE）と食の安全に関する科学」の開催
18	カンピロバクターによる食中毒にご注意ください[4/20記事のシェア投稿]
19	報道機関との意見交換会（5月18日）
20	野草による食中毒[4/19記事のシェア投稿]
27	メルマガ【読物版】塩と健康

■ 6月（7記事・閲覧数約33,700件/月）

投稿日	記事内容
1	食中毒に気を付けて
10	バーベキューやピクニックでの食中毒にご注意ください
13	食育推進全国大会に出展(6月11～12日)
20	食品安全委員会事務局長交替
21	ジュニア食品安全委員会(27年度)開催案内
24	欧州で生の杏(アンズ)の仁(アプリコットカーネル)に関する健康リスクについての意見書が公表されました
30	英文電子ジャーナル Vol. 4, No. 2 の公開

(2) ブログ

メルマガジン【読物版】や健康に影響を及ぼすおそれのある危害に関する情報提供

■ 4月（4記事・閲覧数約3,500件/月）

配信日	記事内容
5	アクリルアミドの評価結果がまとまりました
6	寄生虫（トキソプラズマ）による食中毒に注意しましょう
11	メルマガ【読物版】新鮮なものは本当
28	メルマガ【読み物版】腸管出血性大腸菌やカンピロバクターを中心に

■ 5月（1記事・閲覧数約2,200件/月）

配信日	記事内容
27	メルマガ【読み物版】塩と健康

■ 6月（2記事・閲覧数約2,000件/月）

配信日	記事内容
10	バーベキューやピクニックでの食中毒にご注意ください
21	ジュニア食品安全委員会(27年度)開催案内

(3) メールマガジン【読物版】(約1万人に配信)

実生活に役立つ食品安全に関する情報を分かりやすく解説した情報等の提供

配信月	配信記事	記事内容
4	食べ物のおいしさと安全・安心	「食品を科学するーリスクアナリシス(分析)連続講座」の中から、「食べ物のおいしさと安全・安心～新鮮なものは本当に安全?～」(平成27年9月)を紹介
	あなどるなかれ食中毒	「食品を科学するーリスクアナリシス(分析)連続講座」の中から、「あなどるなかれ食中毒～腸管出血性大腸菌やカンピロバクターを中心に～」(平成27年10月実施)を紹介
5	塩と健康	「食品を科学するーリスクアナリシス(分析)連続講座」の中から、「塩と健康～あなたの塩分摂取量は大丈夫?～」(平成27年11月実施)を紹介

(注) 各種の数字は、平成28年6月末日現在のデータである。